

災害時における障害のある人への支援について

1 現状

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、障害のある人への支援に関する様々な課題が明らかになったことから、平成24年度に災害時における障害のある人への支援体制に関するワーキングチームを設置し、県として取り組むべき課題の整理と具体的な施策が検討されたこと。また、千葉県防災基本条例の施行や災害対策基本法の一部改正等を踏まえ、課題に対する取り組みの方向性を整理した。

また、近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、国において、平成30年12月14日、特に緊急に実施すべき対策として、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が閣議決定され、ソフト・ハード対策が実施されることとなった。

この対策は、主に国土交通省の事業に関連するものであるが、社会福祉施設等の耐震対策も含まれている。

2 課題

第六次千葉県障害者計画は、ワーキングチームで整理された課題に対する第五次千葉県障害者計画の取り組み状況や、防災政策課等関係課による見直しなどを踏まえ策定したが、国における緊急対策に関する県の取り組み等を把握し、新たな課題と取り組みの方向性を検討する必要がある。

3 課題に対する取り組み方針

全国で大きな災害が頻発しており、本県における課題と取り組み状況を把握すること及び第七次千葉県障害者計画の策定に向けて、災害時における障害のある人への支援に関する取り組みの課題と方向性を、主要施策の8(防災に関する施策を含む)を担当する入所地域生活支援専門部会において検討していくこととした。